



Barbro Kalla バルブロ・カッラ
ウーメオ市 (Umeå)
持続可能なスウェーデン協会
- 教育プロジェクト コーディネーター
- プロジェクト・マネージャー
「持続可能なスウェーデン・ツアー」
団長

バルブロさんは1998年以來、エーサム社でコンサルタントとして働いている。研修のリーダー、アドバザ一、国際コーディネーターとして、持続可能な発展の分野で必要とされる能力を拡大していくためのサービスを提供している。教育、学校や中小企業への管理制度の導入支援、ネットワーク作りやスウェーデンのノウハウの輸出事業などである。

バルブロさんは、10年ほど前からウーメオ自然学校とウーメオ自治体と一緒に仕事してきた。校長や教員などの学校関係者のネットワークを築くうえで『プロセスリーダー』をつとめ、持続可能な発展やESD (Education for Sustainable Development/持続可能な発展のための教育) についての講師として活躍した。またスウェーデン学校庁が提供する「持続可能な学校」という認証制度の取得ができるように、幼稚園や学校の支援をするうえでも重要な役割を果たした。2009年は、スウェーデン北部のウーメオ市を含むヴェステルボッテン (Västerbotten) 県を対象にESDの実践状況を調査した。その調査を通じて、野外教育や学校で起業能力を育むための良い事例をたくさん発見することができた。

バルブロさんはこれらの仕事において、教員としての経験を生かしている。エーサム社に入社する前は9年間、中・高等学校 (12歳-19歳の生徒) と成人学校の教員として働いた。

持続可能なスウェーデン協会の活動に積極的に参加している中で、バルブロさんは2回ほど日本を訪れている。2005年は環境教育やESD、また企業における環境管理制度ISO14001についての講演をした。2006年はESDにテーマを絞り、環境省、東京大学、飯田市、様々な教育組織、学習塾サピックス ecoクラブや市民団体などの講演やワークショップ企画で活躍した。連絡先: barbro@esam.se

持続可能なスウェーデン協会 (Sustainable Sweden Association) の概要

持続可能なスウェーデン協会は2000年に設立された非営利・非政府団体である。全世界を相手に持続可能な発展の実現を推進するために先駆的に取り組むことを目指している。より元気なコミュニティーや成功するビジネスを育むために、企業、行政、科学、農業、教育、環境保護団体や自治体がコラボレーションできるようなプロジェクトを考え、組み立てている。一緒にプロジェクトを立ち上げたい、参加したいという組織の協力や提案を歓迎している。

持続可能なスウェーデン協会の会員の一部は、持続可能な発展のための取り組みを20年間以上続けてきた。長年蓄積されてきた知識や経験を土台にしながら、国際社会との学び合いや交流を行っている。すべての目的は、持続可能な地球という共通のビジョンの実現である。 <http://www.sustainablesweden.org/>

エーサム株式会社 (Esam AB) の概要

1990年に設立されたエーサム社は、スウェーデンの持続可能な社会への転換において重要な役割を果たしてきた。現在エーサム社は、持続可能な発展に向けた実践経験の共有を軸に幅広い国際的ネットワークをもっている。広がっていく国際的ネットワークの中で、持続可能な発展の概念を取り入れたいという企業、組織、自治体のためのアドバイザー、コンサルタント、ガイドの役割を果たしている。

エーサム社の国際的パートナーは、持続可能なスウェーデン協会とその日本代表のレーナ・リンダルさん、ナチュラル・ステップ、スウェーデンエコ自治体協会、アメリカのエコ自治体などがある。持続可能なスウェーデン協会の会員として、エーサム社は継続的に国際交流の取り次ぎをしている。その一環として、日本やアメリカ向けに、視察ツアーや講演を提供している。 <http://www.esam.se>

SUSTAINABLE SWEDEN ASSOCIATION

Sustainable Sweden c/o Esam AB,
Storgatan 35, S-903 25 Umeå, Sweden

tel +46 (0)90 - 12 25 98
fax +46 (0)90 - 12 21 70

Org nr.
134523 - 3233

internet www.sustainablesweden.org
e-post info@sustainablesweden.org